



GILLETTE — THE PARALLEL MARKET

Ferdinando Frega — Nando the Scribe

GILLETTE — 並行市場

イタリア人が衣料の世界と食品市場でだけよく知っている現象がある。ある製品が世界的な関心を集めはじめると、非公式なやり方で商売のできる者は誰もが並行販売業者になるのだ。

保護されるのは公式の製品だけで、偽造品は決して守られない — だが、これから見るように、偽物はときにほとんど見分けがつかなくなる。それほど出来がいいのだ。そして顧客を欺くだけでなく、消費者に欺かれたことさえ気づかせない。

1980年代、市場でもっとも流行していた商売の現象のひとつは、為替市場の弱みにつけ込むことだった — 当時は取引可能な公式通貨が60以上あった — 外国で製品を買い、国内で転売するのである。

あるインタビューで、当時のイタリア人CEOはこう告げられた。イタリアでの売上2000億リラに対して、Gilletteの並行輸入という現象は10億から50億にすぎない — 取るに足りない額とされ、こうした取引を止めるどんな対策も損失そのものよりはるかに高くつく、と。彼はこう答えた。

今日、ひと握りの人間がGilletteのような会社の境界を侵すのを許せば、違法ではないにせよ正しくない慣行を、われわれが正当と認めることになる — そしてGilletteの人間の原則は、金より価値がある。

記者たちは打たれたかのように引き下がった。この話を報じた者はいない。誰も決して口にしないものに触れていたからだ。価値観である。

利益の問題であったことは一度もない。人間の問題、ただそれだけだった。

フェルディナンド